

毎年1月24日～30日は全国学校給食週間です！！

我が国における学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていきましたが、戦争の影響などにより中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、昭和21年6月にアメリカから給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開されました。同年1月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われて以来、この日を学校給食感謝の日と定めました。

昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点で、学校の冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「全国学校給食週間」とし、期間中は、学校給食の意義や役割について、児童生徒・教職員・保護者や地域住民等の理解と関心を高めるために、全国で様々な取組が行われます。

教育庁の取組内容

1 学校給食に関する展示

- (1)期間：令和3年1月25日（月）～1月29日（金）
- (2)場所：県庁西庁舎2階渡り廊下
- (3)内容：令和2年度学校給食文部科学大臣表彰【個人】受賞のいわき市立小名浜学校給食共同調理場 赤津栄養教諭並びにいわき市教育委員会の学校給食及び食育の取組、県内小中学生を対象に10月に開催された「ふくしまっ子ごはんコンテスト」の様子や入賞作品について展示します。

2 学校給食の提供：

①「和食給食」献立の提供

- (1)期間：令和3年1月27日（水）
- (2)場所：県庁職員食堂
- (3)内容：いわき市内の小中学校で11月に提供された「和食給食」の献立を1日50食限定で販売します。（デザートのみ変更）
【和食給食】ごはん、牛乳、だし香る沢煮椀、鮭のゆずみそかけ、小松菜とじゃこの炊いたん、一口梨ゼリー



「和食給食」は、子どもたちに和食の良さを知ってもらうため、いわき市内の和食料理店の料理人が考えた献立です。



2 学校給食の提供：

②「ふくしま健康応援メニュー」の提供

- (1)期間：令和3年1月28日（木）
- (2)場所：県庁職員食堂
- (3)内容：県内の学校給食で「学校給食週間」期間中に提供される「ふくしま健康応援メニュー」のうち、野菜ミックスジュースで作るミネストローネスープを当日の洋食メニューのスープとして50食限定で提供します。

野菜たっぷり！
おいしく減塩！



「ふくしま健康応援メニュー」は、県民の健康づくりを応援するために、県保健福祉部健康づくり推進課と福島県食育応援企業団が一緒に考案したメニューです。今回は、カゴメ株式会社とのコラボメニューです！